

大阪南ロータリークラブ会報

第 810 号
2025 年 9 月



事務局 〒536-0011 大阪市浪速区日本橋西 1-2-11
マルニビル 7 階 B
例会日 毎週火曜日 午後 0 時 30 分
例会場 センタラグランドホテル大阪 3 階
会長 新開 隆浩 幹事 清水 久博

第 1 回クラブフォーラム

クラブ管理・運営部門

日 時：2025 年 8 月 19 日（火）

午後 5 時 30 分登録、午後 17 時 50 分開会

場 所：ホテルモントレプラス大阪 23 階

「ウィングミアホール」

浪速区湊町 1-2-3 マルニ難波ビル

☎ (6645) 7111

討議部門：クラブ管理・運営部門

形 式：バズセッション

出席者（敬称略、順不同）70 名

◎テーブルマスター

A テーブル 新開、藤井、草島、河野、山本和、
中村剛、飯井

B テーブル ◎桑原、井原、加藤、小八木、
大桑、竹田哲、谷村、由谷

C テーブル ◎米田秀、松田、松本、岡村、
佐南、島本、清水、武田太

D テーブル ◎岡本直、羽東、川谷、小林豊、
鈴木慶、辰己、山本ハ

E テーブル ◎下井、樋口纏、森、新田一、
庄司、鈴木順

F テーブル ◎西本、橋本、入江、木積、
小林二、中沢

G テーブル ◎大原、木村、小島、菰田、
中島、新居、柚

H テーブル ◎一瓢、天野、長谷川孝、三原、
野口、谷、寺本

I テーブル ◎藤野、相川、原田、栗原、
佐藤研、末澤、寺川

J テーブル ◎持松、樋口喜、木下仁、久我、
澤村、世古口、神藤

議 題：

- ① 例会出席率が低下傾向にある中で、他クラブへのメイクアップや地区行事参加、RAC・IAC 行事参加等で出席率を上げるにはどうすれば良いか？
現メイクアップ対象は適正か？また、コロナ禍で行われたオンライン例会の再検討をどう考えるか？
- ② 200 名という大所帯となった当クラブを伝統と格式を守りながら、活性化し続ける為の課題とその方策は何か？

よいことのために
手を取りあおう 2025-2026
のテーマ

よいことのために手を取りあおう
「素敵な笑顔」に出会いたい ～笑顔で繋ごう！ より良い未来へ～

フランチエスコ・アレツォRI会長
新開 隆浩会長



1、開会挨拶：新開会長

例会に続いてクラブフォーラムへの参加に感謝の意を述べ、今回初参加のメンバーが6名いることに触れながら、クラブの若返りを実感していると語った。また、7月24日に久我先輩が90歳の誕生日を迎えられたことを紹介し、例会での紹介が遅れたことについて陳謝したうえで、参加者に拍手を促した。

今回のクラブフォーラムは本年度第1回目のクラブ管理・運営部門によるものであり、今後の大阪南ロータリークラブの運営方針について考える場であると説明。会員構成の変化に伴い、従来の運営方法を見直す必要があるとし、今後の方向性について多様な意見を聞きたいと述べた。

フォーラムはバズセッション形式で進行され、結論を出すことなく自由な意見交換を行うことが目的であると、参加者の率直な意見が今後の理事会での議論の参考になることを期待していると締めくくった。

2、テーブルマスター指名：清水幹事

3、初参加の新入会員紹介

加藤会員、小島会員、野口会員、佐南会員、鈴木順会員、辰己会員



4、ゼネラルリーダー議題説明：

河野副会長

今回クラブフォーラムで設定された2つの議題について説明を行った。第1の議題は、例会出席率の低下傾向を踏まえ、他クラブへのメイクアップや地区行事、オンライン例会の活用を含めて出席率をどう向上させるかという点。第2の議題は、200名規模の大所帯となったクラブを、伝統と格式を守りながらいかに活性化し続ける為の課題とその方策である。

背景として、昨年度のフォーラムでは「適正な会員数」「クラブ運営の見直し」「会費と支出のバランス」などが議論され、200名維持が1つのコンセンサスとなった。退会者が年間平均13名であることから、維持には年20名程度の増強が必要とされている。

例会出席率は、かつて90%台を維持していたが、近年は70%台に低下。大阪北ロータリークラブのように、ホームクラブ出席率60%以上、メイクアップ含めた修正出席率80%以上を目標とする例も紹介された。大阪南ロータリークラブでも80%台への回復が望まれる。

会場の収容人数や面積の比較では、大阪南ロータリークラブは他クラブに比べてやや手狭であることが課題とされ、メイクアップ対象の見直しや拡充も検討すべきとされた。

また、他クラブの取り組みとして、デジタル推進委員会による Zoom 例会やサテライト例会、キャッシュレス対応、LINE WORKS の導入などが紹介され、大阪南ロータリークラブでも参考にすべき点があるとされた。

週報の内容や発行タイミングについても他クラブとの比較がなされ、特に卓話の内容を後日確認できる仕組みの有用性が指摘された。最後に、これらの情報が今後の議論の参考になればとの意向を示し、説明を締めくくった。



5、乾杯：藤井元会長

クラブフォーラムへの参加に感謝を述べたうえで、自身の役割に触れながら挨拶を行った。クラブフォーラムの位置づけについて、新しい参加者にも理解しやすいよう説明し、ロータリーの5大奉仕のうち「クラブ奉仕」に該当する活動であることを強調した。

クラブ奉仕は、クラブ内の基盤を整える役割を担っており、建築に例えるならば「土台」や「根っこ」にあたると述べ、これがしっかりしていなければ他の奉仕活動もうまく機能しないと指摘。具体的には、会員増強、研修、広報、例会運営など多岐にわたる活動が含まれており、特に例会への出席を通じて会員同士の親睦を深めることが重要であると語った。

また、出席率に関するクラブ定款の規定について触れ、かつては厳格な運用がなされていたが、近年はその意識が薄れつつあることに懸念を示した。出席率の低下がクラブの活力に影響する可能性があるため、改めて出席の意義を見直す必要性を訴えた。

最後に、本日のディスカッションがクラブの基盤強化につながることを期待し、大阪南ロータリークラブのさらなる発展を祈念して乾杯の音頭を取った。

6、テーブルマスター報告（発表順の通り）



B テーブル：桑原例会運営委員長

テーブル内で活発な意見交換が行われたことに触れ、非常に有意義な時間だったと述べた。議論の中では、役割を持つことで例会への出席機会が増えるという意見や、オンライン参加の是非についての意見が交わされた。オンライン参加に肯定的な声もあったが、やはり対面でのコミュニケーションの重要性を重視する意見が多かった。

また、新人会員への声かけの必要性が話題となり、歓迎の姿勢を示す仕組みづくりが求められているとの認識が共有された。例会への出席を促す制度や、メイクアップ参加時の同行支援、朝の時間帯に行う「モーニングロータリー」の提案など、出席率向上に向けた具体的なアイデアも挙がった。

さらに、元会長から「初心を思い出すべき」との言葉があり、桑原委員長自身もその言葉に感銘を受け、今後は例会への出席を徹底することを誓った。最後に、「できないことはない。やらないと決めているのは自分自身だ」という言葉を引用し、今後の積極的な参加への決意を表明して発言を締めくくった。



C テーブル：米田秀会員友好委員長

バズセッション形式に触れ、「結論を出さない議論の場」であることを確認したうえで、自身の発言がまとまっていないことを前置きしながら話を始めた。前半では出席率やメイクアップに関する議論があり、特にメイクアップの本来の意義について、会長の話を聞く前半部分にこそ価値があるという意見が共有された。また、かつては「100%出席」が当然とされていたが、現在はそのルールが曖昧になっていることに対する戸惑いや、ルールは厳格であるべきだという声もあった。

一方で、厳しさ一辺倒ではなく柔軟性も必要との意見もあり、Zoomによる例会参加の復活を望む声が多く挙がった。出席率よりも例会の「中身」が重要であり、Zoomを通じて内容に触れることがクラブの活性化につながるという認識がテーブル内で共有された。

出席率向上の工夫としては、趣味の会などを入り口にした参加促進策が有効であるとの

意見もあり、懇親の場を活性化させることの意義が語られた。後半では「伝統と格式」に関する議論が展開され、ドレスコードの見直しや「エレガント・カジュアル」といった新しいスタイルの導入が提案された。服装の柔軟化により、会員が意見を出しやすい雰囲気づくりが可能になるとの見方が示された。

また、女性会員が増えた現状を踏まえ、ルールのあり方についての議論もあったが、男性中心のテーブルでは明確な結論には至らなかった。最後に、クラブの大規模化に伴う運営の難しさについても言及され、200人規模では顔と名前の一致が困難であることや、今後さらに工夫が求められるという認識が共有された。活発な意見交換が行われたことに感謝の意を述べて発言を締めくくった。



D テーブル：岡本直会員増強委員長

前回のクラブアセンブリーで「増強目標はプラスマイナス 0」と発言したことに対する謝罪から始め、現在は「プラス 20、マイナス 20」を目標として取り組んでいると述べた。

テーブル内では、クラブの会員数 200 名は人間関係の維持に最適な規模であり、今後もこの人数を維持すべきとの意見が多く出た。また、出席率向上のためのメイクアップについては、単なる数字合わせではなく、顔を合わせて親睦を深める例会出席こそが本質であ

るとの意見が大半を占めた。一方で、出張や病気などやむを得ない事情がある場合には、リモートによるメイクアップも有効であるとの声もあり、他クラブの事例を参考にしながら、導入の可能性が議論された。

さらに、週報の充実や会長の話のレポート掲載、あるいは例会のビデオ化による情報共有の提案もあり、事務局の負担とのバランスを考慮しつつ検討すべきとの意見が出された。最後に、例会は楽しく参加することが何よりも大切であると締めくくり、7月以降に3名の新規入会があったことを報告し、今後の増強目標達成に向けて意欲を示した。



E テーブル：下井会員増強副委員長

出席率向上のための提案として4点を挙げた。①メイクアップの対象期間を前後2週間から1ヶ月に延長すること、②E ロータリーの活用促進（参加費が手頃で使いやすいが、認知度が低い）、③Zoom参加の復活（スクリーン不要の簡素な形で）、④年末家族懇親会をメイクアップ対象にすること、が主な意見として紹介された。

続いて「伝統と格式を守りながらクラブを活性化する方法」については、①200名のクラブを20人単位のユニットに分けてフォロー体制を強化する案、②同好会の設立を促進するため約款の簡素化を求める声が挙がった。

特に「ドライブ&グルメ」同好会については、飲酒と運転の両立が難しいため「グルメのみ」にしてほしいという意見があり、参加費が高くても構わないとの声もあった。

最後に、ワイン・社交ダンス・温泉・料理・洋酒・日本酒・囲碁将棋・登山など、さまざまな新しい同好会の設立希望が出され、クラブのさらなる活性化に向けた提案としてまとめられた。



F テーブル：西本広報委員長

主に「例会出席率・行事参加の向上」について意見が交わされたことを紹介した。新入会員がメイクアップの方法を理解しづらい点を踏まえ、他クラブへの「メイクアップツアー」の導入が有効ではないかとの提案があった。また、入会1年目の会員にはRACや衛星クラブへの参加を年1回義務付ける案や、推薦者が入会后1年間は継続的にフォローすべきとの意見も出された。

委員会活動への参加が例会出席のきっかけになるとの声もあり、役割を広く分担することで行事参加を促進できるとの見解が示された。推薦者が新入会員に声をかけて行事に同行することも有効とされた。

オンライン例会の再検討については、消極的な意見が多く、継続的な利用はロータリーの本来の魅力を損なう可能性があるとの懸念

が示された。ただし、昼間に時間の取れない現役世代に対しては、一定の制限を設けたうえで活用する余地があるとの意見もあった。



G テーブル：大原広報副委員長

出席率向上に関して「出席基準を厳しくすべき」との意見があり、かつては紹介者の責任が問われるほど厳格だったというロータリーの原点に立ち返る声が挙がった。一方で、例会の料理の質も出席意欲に影響するとの指摘もあり、環境面の改善も必要との意見が出された。

オンライン例会については、出張時などに助かるという肯定的な意見と、対面での交流を重視する否定的な意見があり、希望者に限定して柔軟に対応する形が望ましいとの見解が示された。メイクアップに関しては、若い会員が多く個性豊かな RAC やなみはや例会が参加しやすく刺激があるとの評価があり、これらのクラブとの関係を強化することが提案された。また、かつて存在したメイクアップ行脚（新人をベテランが他クラブに連れて行く制度）の復活を望む声もあり、初参加への心理的ハードルを下げる工夫が求められた。

クラブ活性化のためには、委員会の規模を小さくし、役割を細分化することで交流と定着を促すべきとの意見が出された。さらに、会員の定着率向上策として「学年制」のよう

な仕組みを導入し、1～2年目の新入会員に対して3～4年目の会員がペアとなってサポートする「チューター制度」の提案がなされた。これにより、例会や事業への参加を促し、クラブ内のつながりを強化できるのではないかと締めくくられた。



H テーブル：一瓢会員友好副委員長

まず例会出席に関しては「フェイストアップフェイスが基本」との意見が多く、オンライン例会には否定的な声が目立ったと述べた。出席率向上については、数字を追うことよりも、実質的な参加の質を重視すべきとの意見があり、柔軟な出席認定のあり方も検討された。自身の経験として、メイクアップ参加への心理的ハードルの高さを挙げ、紹介者による同行やサポートの必要性を提案。特に新入会員が他クラブに参加する際の不安を軽減する工夫が求められるとした。また、メイクアップを通じて他クラブの活動に触れることが刺激になり、出席意欲の向上につながると語った。

クラブの活性化に向けては、刺激のある例会の企画や、テーブル懇親会・二次会などを通じた会員同士の交流促進が有効であるとの意見が出され、楽しさを共有する場づくりが重要であるとまとめた。



I テーブル：藤野会員増強副委員長

出席率向上とクラブ活性化に関する議論を報告した。出席率については、例会の魅力を高めることが重要であり、特に「会長の時間」や「卓話」が参加意欲につながるとの意見が出された。また、メイクアップの対象期間を前後1ヶ月に延長することで、参加機会を広げる提案もあった。

オンライン例会については、基本的には対面を重視するが、仕事や海外出張などやむを得ない事情がある場合に限り、併用を認める柔軟な対応が望ましいとされた。加えて、出欠連絡が未だにFAXで行われていることへの疑問が出され、DX推進の必要性も指摘された。クラブへの理解を深めるために、ロータリーの歴史や理念を学ぶ機会を新入会員向けに設けるべきとの意見があり、愛着を育てることで出席率向上につながるとされた。活性化の方策としては、「楽しい体験」だけでなく「しんどい経験」も共有することで、会員の成長と定着を促すべきとの声があった。

また、同好会の存在や活動内容のPR不足が課題とされ、積極的な案内を通じて参加を促すべきとの意見が出された。最後に、ロータリー活動を通じて社会貢献ができるという意義を、会員間で共有することの重要性が強調された。



J テーブル：持松会員友好委員

これまでの議論と重複する意見が多かったことを踏まえ、J テーブルで特に印象的だった内容を中心に報告した。例会の魅力向上策として、年に一度でも著名人やビジネス界の第一線で活躍する人物を招いた講演を企画することで、参加意欲を高められるのではないかと意見が出された。

また、2～3年目で退会する会員が多い現状を踏まえ、その原因を分析し改善につなげる必要性が指摘された。出席率向上については、連続出席への意識を高める施策が求められ、単なる「意地」ではなく、何らかの優先度や価値を感じられる仕組みが必要との声があった。

メイクアップについては、他クラブの活動を知ることによって大阪南ロータリークラブの良さを再認識できるという意義が強調され、参加機会の拡充が望ましいとされた。特に同好会などの親睦活動もメイクアップ対象として認めるべきではないかという意見があり、例会では得られない深い交流の場としての価値が語られた。

オンライン例会に関しては、費用対効果やフェイストゥフェイスの重要性を踏まえ、事前申請制などの制限を設けたうえで限定的に活用するのが望ましいとの見解が示された。

最後に、会員同士が意見を交わしながらクラブをより良くしていく姿勢が大切であると述べ、発表を締めくくった。



7、ゼネラルリーダー講評：山本和副会長

例会に続いてクラブフォーラムへの参加に感謝を述べたうえで、各テーブルの発表を振り返り、会員増強に関する議論がやや少なかったことに触れつつ、理事会で純増5名の目標を掲げたことを報告した。藤井元会長のデータに基づく話を踏まえ、現状維持では自然減が避けられず、楽しい仲間との出会いの機会も減るため、積極的な増強が必要であると強調した。

例会の魅力については、オンラインでは得られない「会いたい人に会える場」としての価値を重視し、フェイストゥフェイスの交流の重要性を訴えた。クラブの魅力を高めるためには、理事会や会長が中心となって、魅力的な人材を集め、楽しい雰囲気をつくることが大切であると述べた。

また、他クラブとの比較を通じて、大阪南ロータリークラブの費用対効果の高さや、会員同士の協力体制の素晴らしさを再認識してほしいと語った。特に、例会後の相談を通じて万博関連の支援が得られた事例を紹介し、クラブの結束力と人材の豊かさを称賛。最後

に、今後も例会への積極的な参加を呼びかけ、発言を締めくくった。



8、閉会挨拶：飯井会長エレクト

長い一日の締めくくりとして参加者への労いを述べた後、自身が2004年に入会した当時の思い出を振り返った。入会当初は年齢的にも若く、例会では先輩方との距離を感じていたが、当時研修委員長だった小八木氏が毎回欠席者に電話をかけてフォローしていたことに感銘を受けたと語った。

その経験から、出席率の向上には人とのつながりや温かいフォローが欠かせないと改めて感じたと述べ、現研修委員長にもその姿勢を引き継いでほしいとエールを送った。最後に、大阪南ロータリークラブの賑やかさと魅力を称え、新年度も楽しく活動していきたいという期待を込めて閉会の言葉とした。

(文責： 副幹事 末澤 市子)

8月定例理事会

協議事項

1. 新入会員研修の今年度方針
2. 会員増強今年度方針
3. 出前授業について
4. 第2回クラブフォーラム（社会奉仕・国際奉仕部門）の件
5. 年末懇親会の件

審議事項

1. 新入会員候補者の件
2. 出席適用免除会員の件
3. 職場見学会について
4. 前年度事業並びに会計決算報告の件
5. 2024-25年度大阪南RAC決算報告
2025-26年度大阪南RAC予算報告
2024-25年度大阪学院大学RAC決算報告
2025-26年度大阪学院大学RAC予算報告の件
6. 大阪南なみはやロータリー衛星クラブ
2024-25年度決算報告の件
2025-26年度予算報告の件
7. 大阪南RAC地区補助金事業について

報告事項

1. 第1回クラブフォーラム（クラブ管理・運営部門）の件
2. 南北交流懇親会について
3. 第44回大輪ゴルフ会の件
4. 秋の家族会について
5. ニコニコの件
6. 事務局の件
7. その他

ニコニコ箱へ

藤井 眞澄 会員から ・本日、拙い卓話させていただきます。眠たいですが、我慢して聞いてください。

福本 桂太 会員から ・ランチ会で少しお釣りができましたので。

藤岡 和子 会員から ・久々の例会です。これからもよろしくお願いします。

下條 泰利 会員から ・新開会長、友好委員会の皆様、南北交流懇親会楽しかったです。お疲れ様でした。

實來扶佐子 会員から ・お休み続きの中、大役も果たせました。

岩谷佳也子 会員から ・8月に初孫の樹里が誕生しました。
前回のクラブフォーラム前日にキャンセルして申し訳ございません。

小松 範行 会員から ・草島会長杯、予定通り頂きました。ありがとうございました。

- 菰田 哲也 会員から ・ 1 番テーブル懇親会の残金をニコニコします。
- 河野 修 会員から ・ 先日の南北交流懇親会ありがとうございました。大変に盛り上がりました。
本日の卓話の野田隆史さんを宜しくお願い致します。
・ 日曜日に母の白寿のお祝いをしていたら見事阪神タイガースが優勝しました。
万歳!!
- 越井 潤 会員から ・ 本日もよろしくお願いいたします。
- 小八木規之 会員から ・ 友好委員の皆様、南北交流会ありがとうございました。
- 桑原 健郎 会員から ・ クローバー会ありがとうございました。
- 三原幸一郎 会員から ・ 奥田さん卓話頑張ってください。楽しみにしております。笑かしてね!
- 宮川 大作 会員から ・ 南北交流懇親会楽しかったです。ありがとうございました。
・ 9月12日高輪ゲートウェイの駅ビルに店舗 OPEN します。
お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。
- 中村 剛 会員から ・ 8月27日に行われた南北交流懇親会では、大阪北 RC がホストであるのにも関わらず、当クラブの米田委員長はじめ友好委員会のたくさんの皆さまが、お出迎えや、設営にかかわっていただきありがとうございました。大変お疲れさまでした。
・ 6 番テーブル懇親会の残金は出ませんでした、ニコニコいたします。
大阪北 RC が、南北交流懇親会で横断幕まで作って「ニコニコ」を呼びかけられていましたので、大阪北 RC のニコニコにあわす為、2 度のニコニコいたします。
- 岡本 直之 会員から ・ 本日のゲストとして呼びしている大阪けいさつ病院の正井崇史先生、年末懇親会で演奏をお願いしている北川靖明様をよろしくお願いします。
- 佐藤 元相 会員から ・ 8月5日に第1回職業奉仕委員会兼18番テーブル懇親会を開催し楽しく終えました。会費のお釣りが出ましたので、ニコニコさせていただきます。
- 清水 久博 会員から ・ 先週の南北交流会懇親会後に有志で2次会を行った残金をニコニコします。
- 新開 隆浩 会員から ・ 会員友好委員会の皆さま、ありがとうございました。
- 柚 俊平 会員から ・ とある懇親会のお釣りをニコニコします。
- 末澤 市子 会員から ・ クラブフォーラムお疲れ様です。清水幹事はじめ関係各位の皆さまお世話になりました。無事議事録が出来ました。感謝です。
- 寺本 一徳 会員から ・ テーブル懇親会のお釣りをニコニコさせていただきます。楽しい会ありがとうございました。
- 谷村 一行 会員から ・ 8月4日から7日まで台湾の高雄市にて2660地区インターアクト海外研修が行われ同行させていただきました。大変暑い道中でしたが天候に恵まれ、何より怪我やトラブル無く帰って来られたのが良かったです。栗原さんをはじめ地区役員の皆様、ご一緒させていただいた寺川理事、インターアクト委員会の皆様、大阪南 RC の皆様、お世話になり誠にありがとうございました。
- 植田 晃行 会員から ・ 南北交流懇親会お世話になりました。
- 藪内 正己 会員から ・ 先日のクラブ内親睦ゴルフ会にて2位を頂きました。ありがとうございます。あまりあるハンデキャップのおかげでございます。また、自身では良いスコアでまわりました事は、同組の新開会長、桑原会員、楊井会員のおかげで、感謝する次第でございます。特に新開会長と同組でラウンドさせて頂けた事も大変光栄に思っております。コンペ開催にあたりご準備頂いた皆様に改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。
- 山本 博史 会員から ・ 河野さんお世話になりました。ありがとうございました。

横山順治郎 会員から ・ 今月 9 月 21 日から秋の全国交通安全運動が始まります。交通ルールを守り安全運転を心掛けましょう！

米田 秀弥 会員から ・ 本日入会の鶴田さんをどうぞよろしくお願いします。
・ 南北交流懇親会に多数ご参加いただきありがとうございました。
全員で法被を着て盆踊り大いに盛り上がりました。
これで安心して来年に引継げます。

本年度目標額 520 万 9 月 16 日現在 累計 1,736,621 円